

ヒト由来デオキシシチジンキナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1741

Lot. No. (See product label)

はじめに

宿主	E.coli
用途	ヒトデオキシシチジンキナーゼは、ヒト肝癌細胞から抽出したmRNAのRT-PCR産物によってクローニングされた33kDaの活性化された精製タンパク質であり、E.coliで発現されています。
別名	デオキシシチジンキナーゼ (リン酸化); 2'-デオキシシチジンキナーゼ; アラ-Cキナーゼ; アラビノフラノシルシトシンキナーゼ; デオキシシチジン-シチジンキナーゼ; dCK

製品情報

種	dCK
由来	人間
EC番号	EC 2.7.1.74
CAS登録番号	9039-45-6
分子量	33kDa
活性	≥ 0.025 単位/mg タンパク質
単位定義	1単位のデオキシシチジンキナーゼは、pH 7.6、37°Cで、結合したPK/LDH酵素系を用いて測定した場合、1.0 μmoleのデオキシイノシンとATPをdCMPとADPに交換します。

使用法とパッケージング

包装	安定した凍結乾燥形態
----	------------

保管・発送情報

保存方法	-20 °Cの溶液中に50 mM Tris-HCl、pH 7.6、1 mM β-メルカプトエタノール、50% グリセロールを含む。
------	---